

運動用エルゴメータ ストレングスエルゴ5

アウトカムレポート取得ツール 取扱説明書

●アウトカムレポート取得ツールをご使用前に、
必ずこの「アウトカムレポート取得ツール取扱説明書」をよくお読みください。

— 目 次 —

●取扱い上の注意事項●	2
1. アウトカムレポート取得ツールの概要	3
1.1. ツールの機能	3
1.2. ツール動作環境	3
1.3. 同梱ファイルの構成	3
1.4. 用意頂くもの	4
2. インストール方法／アンインストール方法	5
2.1. インストール方法	5
2.2. アンインストール方法	6
3. 使用前の準備	7
3.1. RS-232C 通信ポートの確認	7
3.2. 使用する RS232C 通信ポート番号の確認	7
3.3. ストレンジスエルゴ 5 本体とパソコンとの接続	8
4. 使用方法	9
4.1. ツールの起動	10
4.2. 使用するポート・通信速度の設定	10
4.3. パソコンにアウトカムレポートを保存	12
4.4. アウトカムレポートのデータ確認	13
4.5. アウトカムレポートに患者 ID を登録	14
4.6. アウトカムレポートにメモを登録	15
4.7. アウトカムレポートの印刷	16
4.8. ツールの終了	17
5. 保存されるファイルの種類	18
6. 便利な使い方	19
6.1. アウトカムレポートに保存する患者 ID・メモのデフォルト（初期値）を設定	19
6.2. アウトカムレポートを患者 ID で抽出	20
6.3. アウトカムレポートの印刷設定	21
6.4. アウトカムレポート一覧表示の CSV 出力	22
6.5. パソコンに取得済のアウトカムレポートを再取得する	23
6.6. 通信速度を変更する	24
7. 画面構成	25
7.1. メイン画面	25
7.2. 設定画面	26
7.3. バージョン情報画面	27

●取扱い上の注意事項●

アウトカムレポート取得ツールは、本取扱説明書およびストレングスエルゴ5取扱説明書(50N-EY400077)の内容を十分に理解の上、利用をお願いします。

 注意

- (1)パソコンおよびストレングスエルゴ5の電源を投入した状態で、ケーブル類の抜き差しを行わないでください。
- (2)ハードディスクおよび外部保存メディアは、永久的に動作を保証するものではありません。アウトカムレポートデータは、定期的なバックアップをお勧めします。
ハードディスクおよび外部保存メディアの故障、破損等によるデータの紛失については、当社では保証致しかねます。
- (3)一度削除したデータは復旧することができません。データ削除の前に、削除して問題無いことを十分ご確認ください。
- (4)本ソフトウェアが作成したフォルダ・ファイルは、名称を変更しないでください。本ソフトウェアが正しく動作しなくなる可能性があります。
- (5)ストレングスエルゴ5本体から取得するアウトカムレポートには、患者を特定する氏名、ID等は記録されておられません。取得後、「運動終了時の日時」「運動モード」「最大設定」等の情報から患者を特定し、本ツールで患者IDやメモを追加入力する必要があります。
そのため、アウトカムレポート内容と患者を対応付けしやすいように、運動終了時に上記情報を別途メモしておくことをお勧めします。
- (6)パソコンに保存されるアウトカムレポートの件数が増えると、本ツールの動作が遅くなる恐れがあります。
適宜データのバックアップや削除をお願いします。
- (7)パソコンおよびストレングスエルゴ5の電源を投入した状態で、ケーブル類を揺らしたり、コネクタ部分に触れないでください。通信が不安定になる可能性があります。

- ・本アプリケーションソフトウェアは、三菱電機エンジニアリング株式会社の著作物です。
このソフトウェアにかかる著作権、その他の権利はすべて三菱電機エンジニアリング株式会社に帰属します。
- ・本取扱説明書の一部、または全部を三菱電機エンジニアリング株式会社の許可無く、複写・複製することを禁じます。
- ・本アプリケーションソフトウェアは無償でご使用いただけますが、本アプリケーションソフトウェアの使用にあたり生じる障害や問題に対して、三菱電機エンジニアリング株式会社は一切の責任を負いません。
- ・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載してある会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- ・Intelは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- ・製品の仕様や構成の一部が予告なく変更されることがありますので予めご了承ください。

1. アウトカムレポート取得ツールの概要

1.1. ツールの機能

「アウトカムレポート取得ツール」は、ストレンジスエルゴ5本体に保存されているアウトカムレポートをパソコンに保存するためのツールです。ストレンジスエルゴ5本体では最大で40[件]のアウトカムレポートを保存しておりますが、ストレンジスエルゴ5本体のみでは保存されているデータの確認が出来ません。また、40[件]を超えると古いデータから消去されていきますので、本ツールを使用し、定期的にデータをパソコンに保存することを推奨します。

本ツールは、以下の機能を実現します。

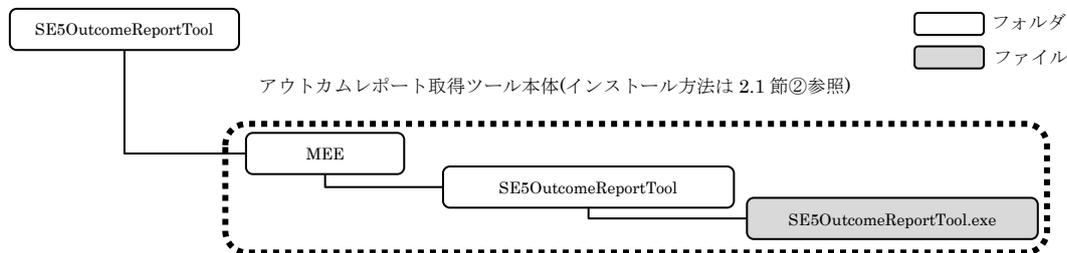
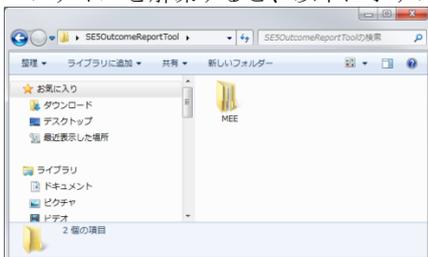
- (1)ストレンジスエルゴ5本体に保存されているアウトカムレポートを、パソコンに取り込みます。
また、取り込んだデータの内容を表示することが可能です。
- (2)本体から取得したアウトカムレポートに対し、患者 ID、メモを付加して保存します。
- (3)アウトカムレポートをプリンターで印刷します。

1.2. ツール動作環境

パソコン機種	PC/AT 互換機	
OS	Microsoft Windows7 SP1 以降 ※.NET Framework 4.5 以降が動作する環境	
CPU	1GHz 以上のプロセッサ	
メモリ	2GByte 以上	
HDD	100MByte 以上の空き容量	
ディスプレイ解像度	1024×768 以上	
RS-232C 通信ポート	1 ポート (USB-RS232C 変換ケーブルでも可)	
プリンター	機種	使用する OS に対応したインクジェットプリンターまたはレーザープリンター
	用紙サイズ	A4

1.3. 同梱ファイルの構成

ファイルを解凍すると、以下に示すフォルダとファイルが生成されます。



1.4.用意頂くもの

- 1) パソコン(デスクトップパソコン、ノートパソコンいずれも可) 1台
- 2) RS-232C クロスケーブル(D-Sub 9pin メス) 1本
- 3) USB-RS232C 変換ケーブル(※パソコンに RS232C 通信ポートが搭載されていないとき) 必要に応じて1本

1)パソコン



2) RS-232C クロスケーブル



3) USB-RS-232C 変換ケーブル
(必要に応じて)



2.インストール方法／アンインストール方法

2.1.インストール方法

アウトカムレポート取得ツールのインストールは、次の手順により行います。

- ① .NET Framework のインストール (※未インストールの場合)
- ② アウトカムレポート取得ツールのインストール

①.NET Framework のインストール(未インストールの場合)



注意
Windows 8 以降をご使用の方は、この作業は不要です。

Windows7 SP1 の環境で本ツールを使用する場合、.NET Framework 4.5 のインストールが必要です。
該当する環境の場合、Microsoft ダウンロードセンターより別途ダウンロード並びにインストールをお願いします。

②アウトカムレポート取得ツールのインストール

下記注意事項を留意の上、「MEE」フォルダをインストールしたいフォルダにコピーします。
ここでは、新しく作成した「tools」フォルダにコピーする例を示します。



展開した SE5OutcomeReportTool フォルダ インストール先フォルダ (例 : tools フォルダ)



注意
本ツールは、通信ポート等の設定をファイルに保存します。以下のフォルダに本ツールをインストールすると、設定ファイルの生成や更新が出来ず、動作に支障が生じる恐れがあります。

- 1) ドライブ直下(Cドライブ, Dドライブなど)
- 2) Program Files フォルダ
- 3) Program Files(x86)フォルダ

2.2.アンインストール方法

アウトカムレポート取得ツールのアンインストールは、次の手順により行います。

- ① 本ツールが起動している場合は終了します。
- ② 必要に応じて、アウトカムレポートのデータをバックアップします。
バックアップ方法は、本書「5.保存されるファイルの種類」を参照願います。
- ③ 「MEE」フォルダを削除します。

 注意

本ツールを起動したまま、アンインストールは行わないで下さい。

3.使用前の準備

3.1.RS-232C 通信ポートの確認

パソコンに RS232C 通信ポート (D-sub9 ピン) が搭載されているか確認します。

(1) パソコンに RS232C 通信ポートが搭載されているとき

右の写真は、RS232C 通信ポートの例です。殆どのパソコンでは、本体の背面に配置されています。

ポートが存在しない場合、または別の機器との接続で既に使用している場合は、「(2) パソコンに RS232C 通信ポートが搭載されていないとき」を参照願います。



(2) パソコンに RS232C 通信ポートが搭載されていないとき

USB 端子を搭載するパソコンであれば、USB-RS232C 変換ケーブルを利用し、RS232C ポートを増設することが可能です。使用する製品の取扱説明書に沿って、デバイスドライバーのインストールを行ってください。

3.2.使用する RS232C 通信ポート番号の確認

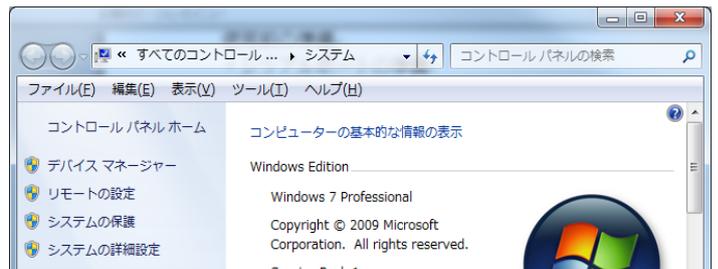
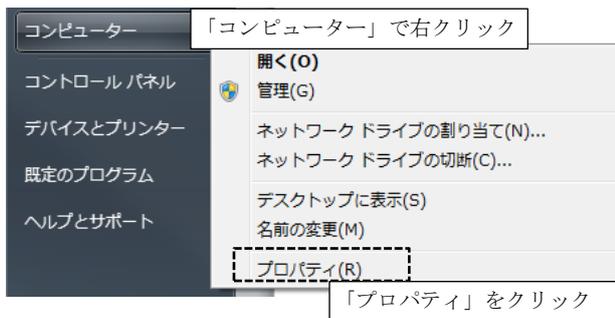
本ツールでは、RS232C 通信ポートの番号を設定する必要があります。ポート番号はパソコンにより異なる為、本節ではポート番号の確認方法について説明します。

(1) デバイスマネージャーを開きます。

【Windows 7 の場合】

① デスクトップ左下にある「ウィンドウズ」ボタンをクリックして、「コンピューター」にマウスを合わせて、右クリックします。メニューが表示されますので、「プロパティ」をクリックします。

② 画面が開きますので、「デバイス マネージャー」をクリックします。



【Windows 8 の場合】

① キーボードの「Windows」キーと「X」キーを同時に押します。

② 画面左下にメニューが表示されますので「デバイス マネージャー」をクリックします。

(2) ツリーの中から「ポート (COM と LPT)」を探し、ダブルクリックすると下図のように COM デバイスが展開されます。「通信ポート (COM○)」 (※○がポート番号に相当) の項目があるか確認して下さい。



注意

パソコン環境によっては、COM ポートに「Intel® Active Management Technology-SOL(COM○)」と表示される場合がありますが、本デバイスはストレングスエルゴ5 含む外部機器との通信に使用するものではありません。

通常、パソコン本体の RS232C ポート 1 つに対し、デバイスマネージャーで表示される COM デバイスは 1 つです。COM ポートを複数搭載するパソコンでは、COM デバイスが複数表示されます。ポート番号と実際のポートの対応は、次の通り確認して下さい。

①ポート名称で確認する

USB-RS232C 変換ケーブルを使用したポートは、製品の固有名称や、「拡張ポート」の表記で確認できます。



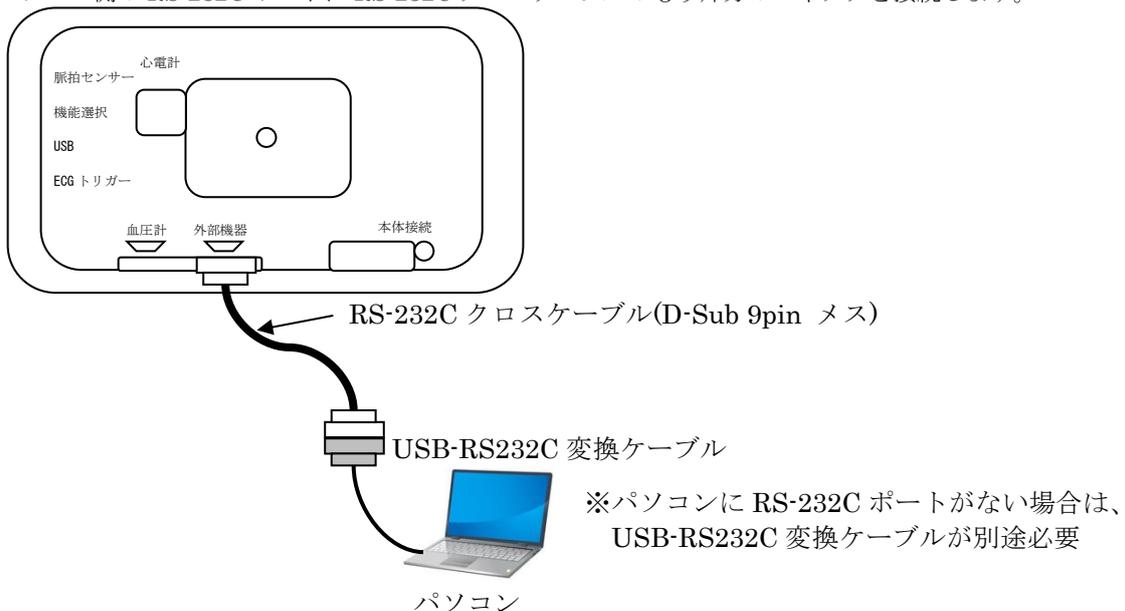
※必ずしも上の表記とは限りません。また、上の例では黒塗り部に製品固有の名称が入っています。

②実際に接続して確認する

COM デバイスの名称から特定が難しい場合は、COM デバイスとして列挙されている番号を順番に設定して確認して下さい。誤った番号を設定すると、ポートを開くことが出来ないか、通信が確立しません。

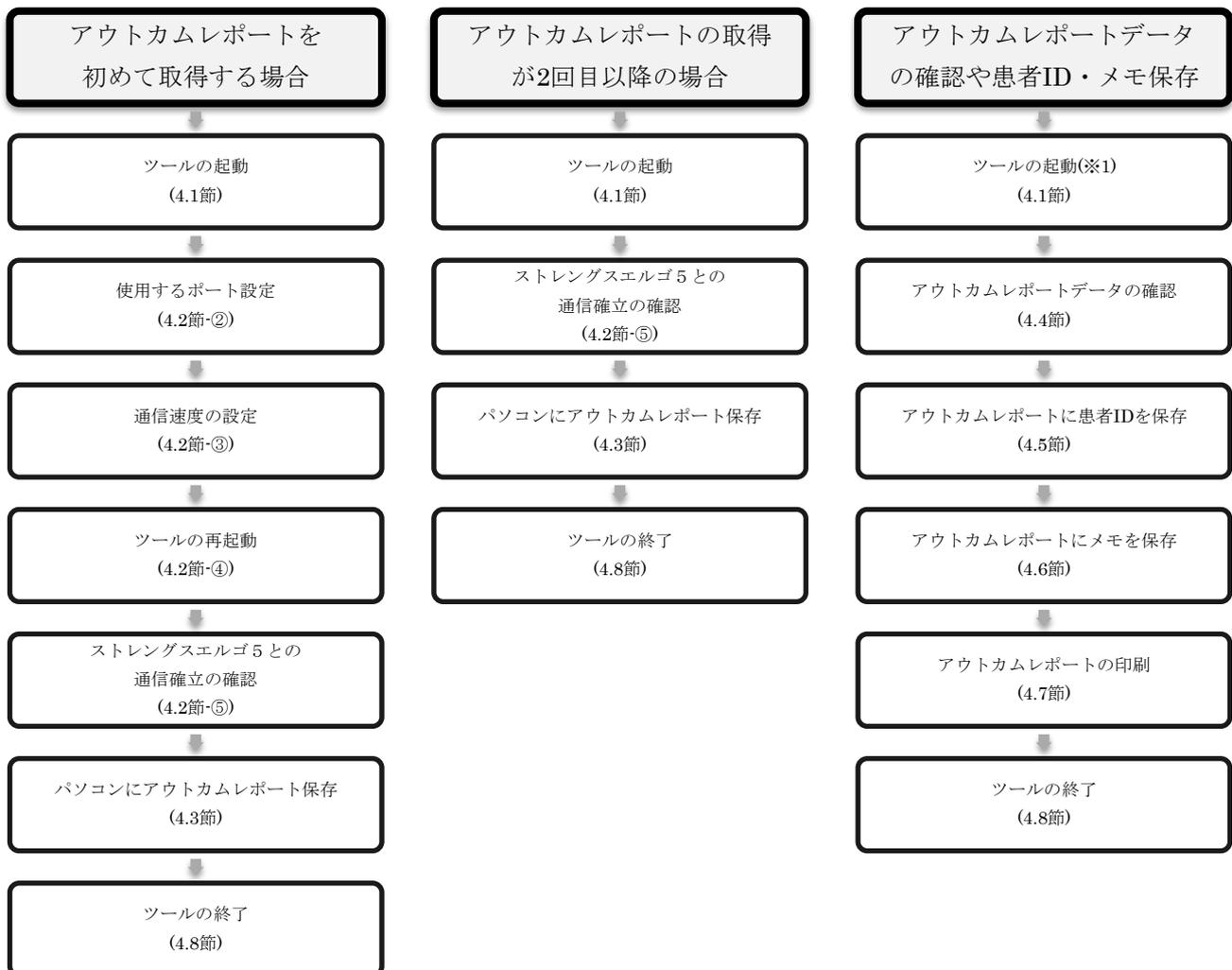
3.3.ストレングスエルゴ5 本体とパソコンとの接続

ストレングスエルゴ5 の電源が ON である場合は、電源を OFF にしてから接続を行ってください。ストレングスエルゴ5 の操作 BOX にある「外部機器」コネクタに RS-232C クロスケーブルを接続します。次に、パソコン側の RS-232C ポートに RS-232C クロスケーブルのもう片方のコネクタを接続します。



4.使用方法

本ツールを使用して、ストレンジスエルゴ5からアウトカムレポートを取得し、保存・印刷する方法について本章で説明します。



※1 アウトカムレポートデータの確認や患者ID・メモの保存は、パソコンとストレンジスエルゴ5との通信が確立していない場合でも可能です。

4. 使用方法

4.1. ツールの起動

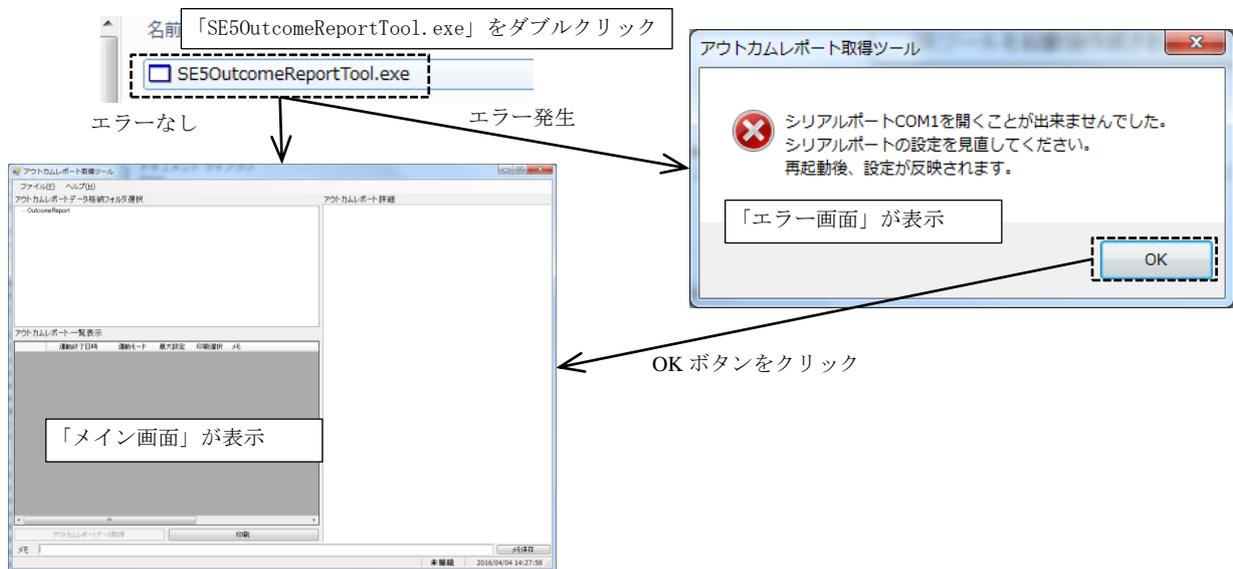
「2.1 インストール方法」で本ツールをインストールしたフォルダに移動し、「SE5OutcomeReportTool」フォルダ内の「SE5OutcomeReportTool.exe」をダブルクリックするとツールが起動します。拡張子を表示しない設定の場合は、「SE5OutcomeReportTool」とのみ表示されます。

初回起動時は通信ポート未設定の為、下記のようにエラー画面が出ることがあります。この場合、「4.2.使用するポート・通信速度の設定」に従い、シリアルポート番号を設定して下さい。

● ツールの設定を行っているにもかかわらずエラーが表示される時 ●

以下の要因が考えられます。

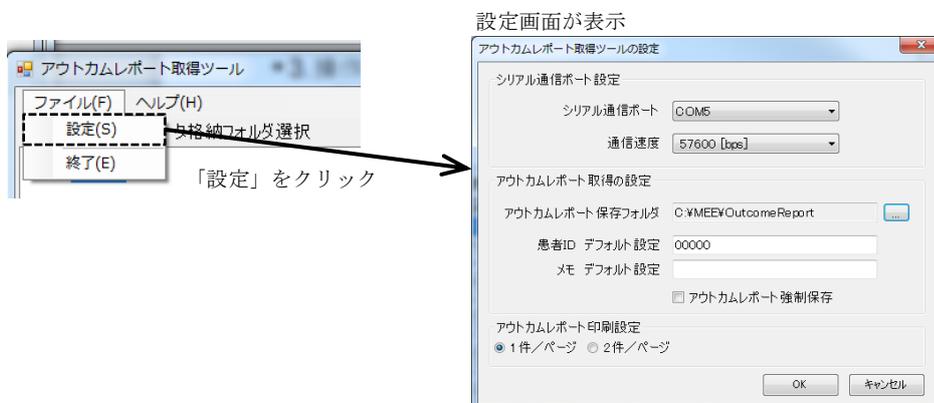
- ① 初回起動時（ポート設定未完了）
- ② USB-RS232C 変換ケーブルがパソコンの USB ポートに接続されていない
- ③ 他のソフトウェアがシリアルポートをすでに使用している



4.2. 使用するポート・通信速度の設定

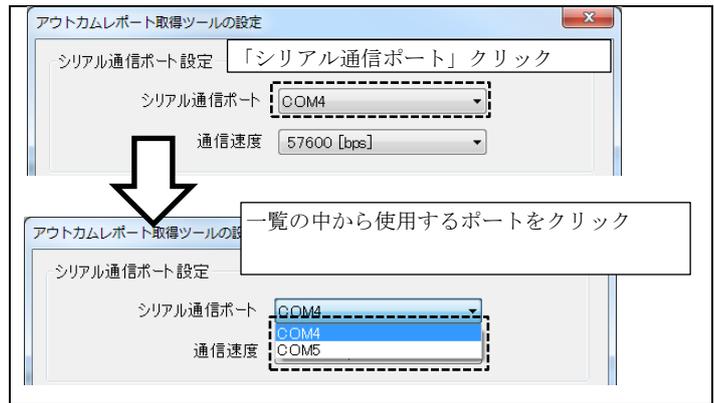
使用するポート・通信速度の設定は、設定画面にて行います。

- ① 「メイン画面」のメニューから「ファイル」→「設定」をクリックすると設定画面が表示されます。



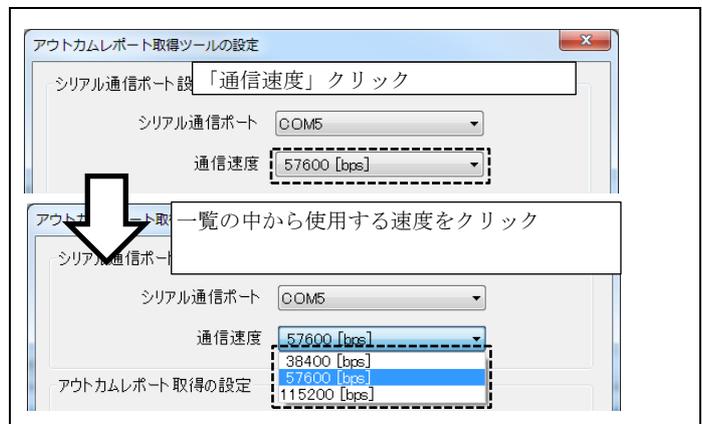
4. 使用方法

- ② 使用するシリアルポートの名称を選択します。
ポートの名称が不明な場合、本書「3.2. 使用するRS232C 通信ポート番号の確認」を参照ください。
シリアル通信ポートのプルダウンをクリックすると、使用可能なポート一覧が表示されるので、使用するポートをクリックして選択します。



- ③ 通信速度は、ストレンジスエルゴ5の設定に合わせます。ストレンジスエルゴ5のパラメータ設定は、デフォルト設定値で57600[bps]です。

この設定を変更していない場合は、ツールの設定もデフォルト値の「57600[bps]」として下さい。



- ④ ボタンをクリックして、設定を確定します。シリアル通信ポートまたは通信速度を変更した時は、右のダイアログが表示されます。指示にしたがって、本ツールを終了し、再度実行して下さい。



- ⑤ 本ツールを起動し、ストレンジスエルゴ5本体の電源を投入すると、自動的に接続が行われます。ツールの起動とストレンジスエルゴ5の起動順番は逆でも構いません。接続が確立すると、ステータスバーに表示されている接続状態が「未接続」→「接続」に変化します。

この状態において、アウトカムレポートの情報をストレンジスエルゴ5本体からパソコンに取得することができます。

- 1) ストレンジスエルゴ5とパソコンが通信確立していないとき



※通信確立されていないとき、「通信がタイムアウトしました。」と表示されます。

- 2) ストレンジスエルゴ5とパソコンが通信確立したとき



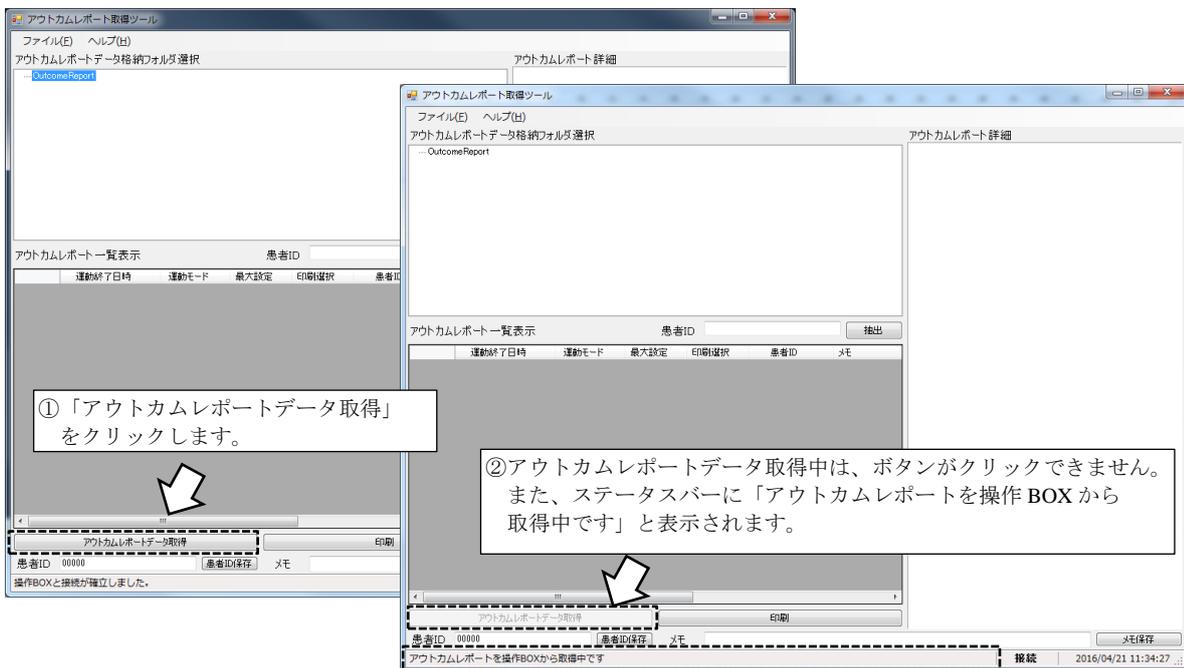
※通信確立されたとき、「操作BOXと通信が確立しました。」と表示されます。

4. 使用方法

4.3.パソコンにアウトカムレポートを保存

ストレングスエルゴ5本体に保存されているアウトカムレポートを、パソコンに転送し保存する方法を説明します。

- ① ツール下部にある「アウトカムレポートデータ取得」をクリックします。
- ② ツールがストレングスエルゴ5本体と通信を開始して、アウトカムレポートの情報を取得します。
※情報の取得には時間が掛かることがあります。
- ③ ストレングスエルゴ5本体からデータ取得完了すると、ツールはストレングスエルゴ5製造番号のフォルダにアウトカムレポートを1件ずつファイル保存します。
アウトカムレポートは、「OutcomeReport」フォルダの下にストレングスエルゴ5製造番号単位でフォルダを作成し、そのフォルダの中に保存されます。2回目以降のアウトカムレポート保存は、前回作成したフォルダに保存します。
- ④ 保存が完了すると、ステータスバーに保存件数が表示されます。前回取得からストレングスエルゴ5本体に新たなアウトカムレポートが追加されていない場合、保存件数は0[件]となり、ファイルは保存されません。
- ⑤ 「アウトカムレポート一覧表示」に、今回保存したデータも含むアウトカムレポート一覧が表示されます。



アウトカムレポートデータ格納フォルダ選択の拡大図

OutcomeReport ※この例では
1550001 製造番号「1550001」

- ③ ストレングスエルゴ5製造番号のフォルダが作成され、そのフォルダの中にアウトカムレポートデータのファイルが保存されます。(2回目以降のアウトカムレポート保存のときは、前回作成したフォルダに追加保存されます。)

4.4.アウトカムレポートのデータ確認

パソコンに保存したアウトカムレポートのデータを確認する方法を説明します。

「アウトカムレポートデータ格納フォルダ選択」には、「OutcomeReport」とストレングスエルゴ5製造番号が表示されます。複数台からアウトカムレポートを取得したときは、製造番号単位でアウトカムレポートが管理されます。

- ① 「アウトカムレポートデータ格納フォルダ選択」から、アウトカムレポートを確認したいストレングスエルゴ5の製造番号を選択します。すべてのデータを確認したいときは、「OutcomeReport」を選択します。
- ② 「アウトカムレポート一覧表示」に、保存されているアウトカムレポートの一覧が表示されます。表示は、「運動終了日付」の日付が一番新しいものを先頭に、以後日付順に並びます。一覧として表示される項目は以下のとおりです。

表示項目	説明
行番号	行番号を表示します。
運動終了日時	運動終了した日時です。
運動モード	運動したモードを示します。
最大設定	この運動で設定された最大の設定負荷・速度が表示されます。
印刷選択	印刷する場合にチェックを付けます。
患者ID	保存されている患者のIDを表示します。
メモ	保存されているメモを表示します。

- ③ 「アウトカムレポート一覧表示」から、詳細情報を確認するアウトカムレポートのセルを選択します。選択した行のすべてのセルが青色で表示され、詳細情報が「アウトカムレポート詳細」に表示されます。

① アウトカムレポートはストレングスエルゴ5の製造番号ごとに保存されていますので、確認したい製造番号のフォルダをクリックします。すべてのデータを確認したい場合は、一番上の「OutcomeReport」フォルダをクリックします。

② 「アウトカムレポート一覧表示」に、選択したフォルダに保存されているアウトカムレポートの一覧が表示されます。詳細を確認したいアウトカムレポートの行を選択します。
※「印刷選択」の項目をクリックすると、印刷のあり/なしチェック状態が反転するので、他の項目をクリックして行選択して下さい。

③ 「アウトカムレポート詳細」に詳細情報が表示されます。

項目	最大	平均
歩数 [歩]	117	67
歩幅 [m]	22.8	15.3
心拍数 [bpm]	107	60
消費カロリー [kcal]	1.5	
運動時間 [min:sec]	00:18	

4.5.アウトカムレポートに患者 ID を登録

パソコンに保存したアウトカムレポートに、患者 ID を登録する方法を説明します。
この患者 ID は、最大 30 文字まで入力することができます。30 文字を超えた入力は無視されます。

- ① 「アウトカムレポート一覧表示」 から、患者 ID を登録するアウトカムレポートを選択します。
- ② 選択したアウトカムレポートに保存されている患者 ID が「患者 ID」欄に表示されます。
保存されていないときは、デフォルトで 00000 が表示されます。(このデフォルトは任意に変更することが可能です。)
- ③ 「患者 ID」欄に登録する患者 ID を入力します。最大 30 文字です。
- ④ 「患者 ID 保存」 をクリックして、アウトカムレポートに患者 ID 情報を登録します。
ツールの下部にあるステータスバーに「アウトカムレポートに患者 ID を登録しました。」と表示され、「アウトカムレポート一覧表示」の「患者 ID」欄、および「アウトカムレポート詳細」の患者 ID に、登録した患者 ID が表示されます。

① 「アウトカムレポート一覧表示」 から、患者 ID を保存するアウトカムレポートを選択します。

患者 ID 登録なし

② 「患者 ID」に、保存されている患者 ID が表示されます。
患者 ID が保存されていないとき、00000 がデフォルトで表示されます。
(このデフォルトは任意に変更可能です。6.1 節を参照)

④ 「アウトカムレポート詳細」の患者 ID 欄に反映されます。

④ 「アウトカムレポート一覧表示」の患者 ID 欄に反映されます。

③ 患者 ID を入力します。
図では「00001」を入力しています。

④ 「患者 ID 保存」 をクリックします。
ステータスバーに「アウトカムレポートに患者 ID を登録しました。」と表示されます。

4.6.アウトカムレポートにメモを登録

パソコンに保存したアウトカムレポートに、メモを登録する方法を説明します。
このメモは、最大 150 文字まで入力することができます。150 文字を超えた入力は無視されます。

- ① 「アウトカムレポート一覧表示」 から、メモを登録するアウトカムレポートを選択します。
- ② 選択したアウトカムレポートに保存されているメモが「メモ」欄に表示されます。
保存されていないときは、デフォルトで何も入力されておりません。
(このデフォルトは任意に変更することが可能です。)
- ③ 「メモ」欄に登録するメモを入力します。最大 150 文字です。
- ④ 「メモ保存」をクリックして、アウトカムレポートにメモを登録します。
ツールの下部にあるステータスバーに「アウトカムレポートにメモを登録しました。」と表示され、「アウトカムレポート一覧表示」の「メモ」欄、および「アウトカムレポート詳細」のメモに、登録したメモが表示されます。

① 「アウトカムレポート一覧表示」から、メモを保存するアウトカムレポートを選択します。

メモ登録なし

② 「メモ」に、保存されているメモが表示されます。メモが保存されていないとき、デフォルトでは空欄となります。(このデフォルトは任意に変更可能です。6.1 節を参照)

④ 「アウトカムレポート詳細」のメモ欄に反映されます。

④ 「アウトカムレポート一覧表示」のメモ欄に反映されます。

③ メモを入力します。
例では「三菱 MEB 病院 PT:三菱太郎」を入力しています。

④ 「メモ保存」をクリックします。
ステータスバーに「アウトカムレポートにメモを登録しました。」と表示されます。

運動終了日時	運動モード	最大設定	印刷選択	患者ID	メモ
00005	2015/02/15 00:31	定歩調	10		
00006	2015/02/07 19:22	外部負荷制御	0		
00007	2015/02/07 19:22	外部負荷制御	1		
00008	2015/02/07 04:09	等速度	50		
00009	2015/02/07 04:04	等速度	50		
00010	2015/02/07 02:35	定歩調	120		
00011	2015/02/07 02:35	定歩調	120		
00012	2015/02/07 02:35	定歩調	120		
00013	2015/02/07 02:35	定歩調	120		
00014	2015/02/07 02:15	等速度	0		
00015	2015/02/07 02:41	筋力測定	60		
00016	2015/02/07 02:39	筋力測定	50		
00017	2015/02/07 02:35	定歩調	120	00001	三菱 MEB 病院 PT:三菱太郎

項目	最大	平均
心拍数 [bpm]	125	109
消費カロリー [kcal]	31.1	31.1
運動時間 [min:sec]	03:07	03:07
移動平均歩数	08:23	08:23
定歩調 [歩]	95	63
歩調 [歩]	17.0	10.8
THR-Max [歩]	100	
THR-Time [min]	1	
WU歩数 [歩]	10	
WU時間 [min]	00:22	

ステータスバー: アウトカムレポートにメモを登録しました。 2016/04/21 15:23:07

4.7. アウトカムレポートの印刷

アウトカムレポートはA4用紙に印刷します。1ページに印刷するアウトカムレポートの件数は、1件または2件が選択可能です。1ページあたり1件印刷するときは、右側が空欄となります。デフォルトは1ページあたり1件です。設定方法は、6.3節を参照ください。

⚠ 注意

印刷に使用するプリンターは、「通常使うプリンター」として設定されているプリンターを使用します。変更する場合、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」を開き、使用したいプリンターのアイコン上で右クリックし、「通常使うプリンターに設定(A)」をチェックして下さい。

⚠ 注意

用紙トレイ切替や両面印刷など、プリンター固有の詳細設定は、本ツールから行うことができません。詳細設定を行うには、「デバイスとプリンター」から使用中のプリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定(G)」を選択して下さい。



- ① 「アウトカムレポート一覧表示」画面で、印刷したいアウトカムレポートの「印刷選択」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。複数のアウトカムレポートを選択することが可能です。
- ② 「印刷」をクリックします。印刷処理が実行され、処理中は印刷中ダイアログが表示されます。処理が終了するとダイアログも消えます。
- ③ プリンターへの印刷が実行され、「印刷選択」のチェックボックスのチェックが消えます。

① 「アウトカムレポート一覧表示」から、印刷するアウトカムレポートの「印刷選択」にチェックを付けます。

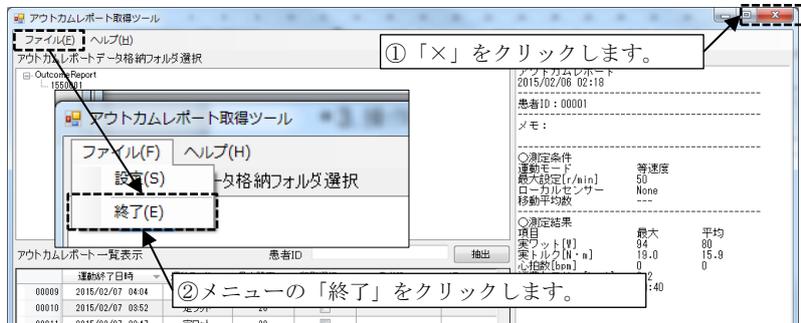
② 「印刷」をクリックします。印刷が実行され、印刷中のダイアログが表示されます。印刷が完了すると、ダイアログは消えます。

③ 「印刷中」ダイアログ

4.8. ツールの終了

ツールを終了するときは、次に示す2つの方法があります。

- ① ウィンドウの右上にある「×」をクリックします。
- ② メニューの「ファイル」－「終了」を選択します。



5.保存されるファイルの種類

保存されるファイルの種類、およびフォルダ構成について説明します。

No.	種類	拡張子	説明
1	データファイル	s5o	アウトカムレポートを保存するための、本ツール独自形式です。
2	CSV形式ファイル	csv	アウトカムレポートをCSV形式で保存したものです。
3	テキスト形式ファイル	txt	アウトカムレポートをテキスト形式で保存したものです。 「アウトカムレポート詳細」に表示される内容と同等のものが保存されます。

<ファイル名の命名規則>

本ツールで保存されるアウトカムレポートファイルは、以下のルールに従ってファイル名が決定されます。

【命名規則】

① 運動終了年月日 + アンダーバー("_") + 運動終了時刻 + アンダーバー("_") + 製造番号 + 拡張子

例：運動終了日時が 2016/04/20、運動終了時刻が 11:25、製造番号が 1550001 のとき、
『20160420_1125_1550001.s5o』となります。

② 運動終了時刻が重なった場合、①の規則では同じ名前のファイルが2つ生成されるので、
本ツールではファイル名の末尾に連番を付与し、重複を防ぎます。

例：2016/7/8 10:30 に終了した運動が2件存在する場合（製造番号：1550001）

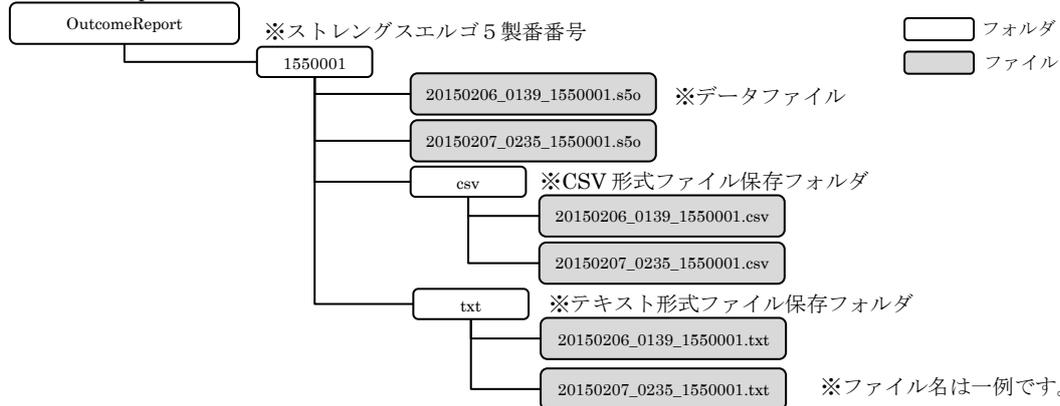
『20160708_1030_1550001_1.s5o』

『20160708_1030_1550001_2.s5o』

の2件が生成されます。

<フォルダ構成>

※OutcomeReport フォルダは、ツールが自動的に作成します。



※アウトカムレポートデータをバックアップするときは、OutcomeReport フォルダごと、コピーしてください。

6. 便利な使い方

6.1. アウトカムレポートに保存する患者 ID・メモのデフォルト（初期値）を設定

アウトカムレポートに保存する患者 ID やメモが定型的であれば、患者 ID・メモのデフォルトを設定することで、入力作業を簡略化することができます。

例として、以下のように患者 ID、メモが定型的に決まっている場合のデフォルト設定をします。

患者	患者 ID	保存するメモ
患者 A	13-00001-4	三菱 MEE 病院 PT：三菱太郎
患者 B	13-00002-4	三菱 MEE 病院 PT：三菱花子
患者 C	13-00003-4	三菱 MEE 病院 PT：三菱太郎
患者 D	13-00004-4	三菱 MEE 病院 PT：三菱花子

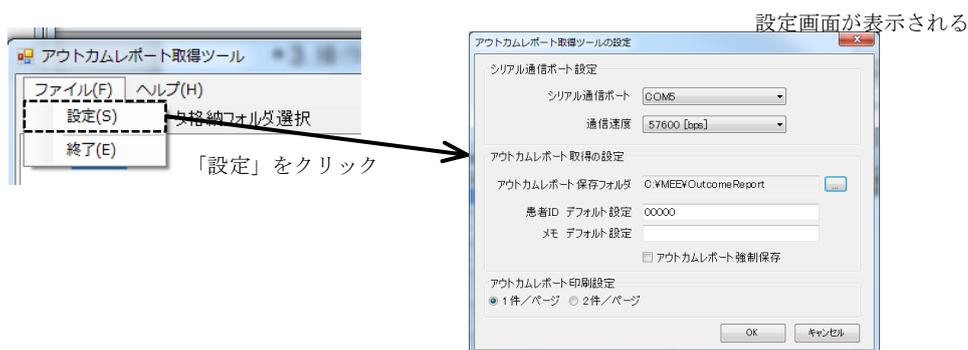
このとき、患者 ID、メモはそれぞれ以下のようなデフォルト設定とします。

患者 ID・メモが未登録のとき、設定した文字が入力欄に毎回表示されますので、必要な部分のみ書き換えるだけで入力作業が完了します。

本節では、患者 ID・メモのデフォルトの設定を次の通り変更する方法を説明します。

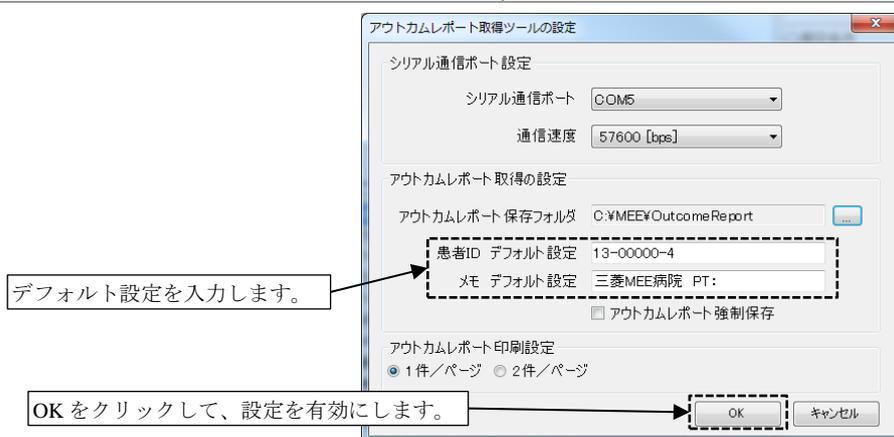
項目	デフォルト設定	理由
患者 ID	13-00000-4	“00000” の部分を書き換えるだけでよいため
メモ	三菱 MEE 病院 PT：	“PT：”の後ろに名前を追記すればよいため

① 設定画面を開きます。



② 「アウトカムレポート取得の設定」欄内の「患者 ID デフォルト設定」に「13-00000-4」、
「メモ デフォルト設定」に「三菱 MEE 病院 PT：」を入力します。OK ボタンをクリックして、設定を有効にします。設定は即時に有効となります。既に患者 ID・メモが保存されている場合は、本デフォルト設定の変更は反映されず、既に保存されている情報が引き続き表示されます。

患者 ID・メモの保存状態	各入力欄に表示される内容
患者 ID・メモが保存されている場合	保存されている情報を優先して表示
患者 ID・メモが保存されていない場合	デフォルト設定を表示



6.2.アウトカムレポートを患者 ID で抽出

患者数やデータ保存件数が多い、あるいは複数台のストレングスエルゴ5からアウトカムレポートを取得している場合など、データの中から目的の患者データを探すのが困難な場合、特定の患者データのみ抽出して一覧表示することが可能です。

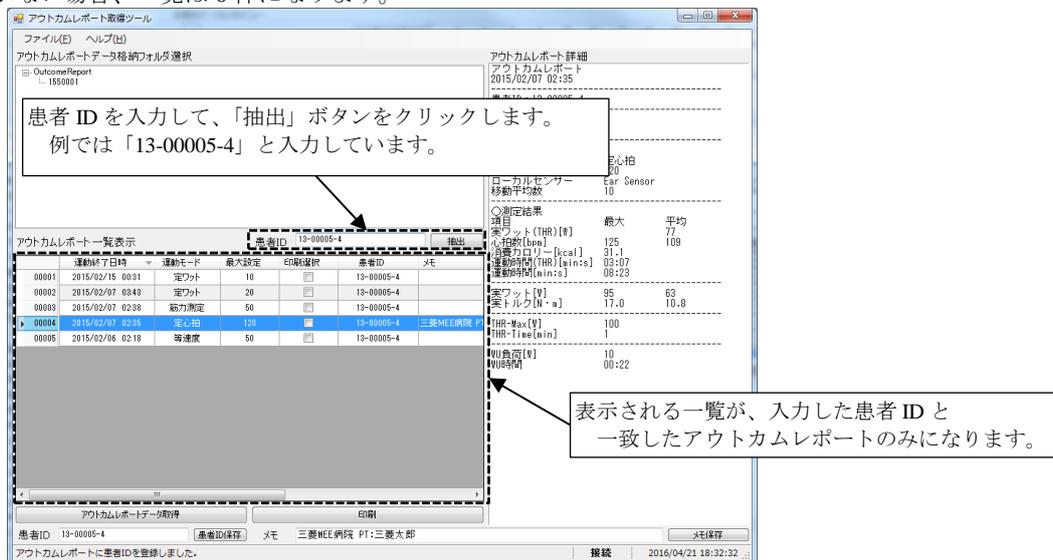
- ①パソコンに保存されているすべてのアウトカムレポートを表示するために、「アウトカムレポートデータ格納フォルダ選択」内の「OutcomeReport」をクリックします。



- ②アウトカムレポートを患者 ID で抽出します。「アウトカムレポート一覧表示」の右上にある「患者 ID」の入力欄に抽出したい患者 ID を入力します。

次に、「抽出」ボタンをクリックするか、入力欄内で Enter キーを押すと、「アウトカムレポート一覧表示」に表示される一覧が、入力した患者 ID と一致したアウトカムレポートのみにになります。

該当する患者 ID がない場合、一覧は 0 件になります。



6.3.アウトカムレポートの印刷設定

アウトカムレポートは、A4用紙に印刷することが出来ます。1ページに印刷する件数は、1件、もしくは2件となります。それぞれの印刷イメージは以下の通りです。

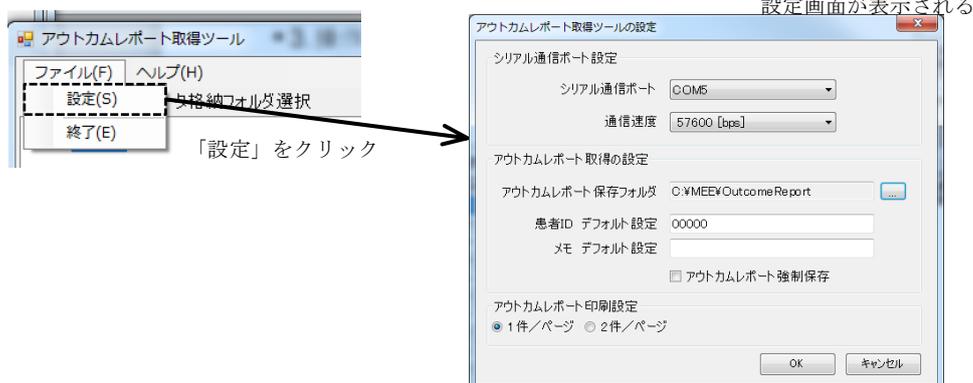
① 1ページあたり1件

アウトカムレポート	
2016/12/01 12:28	
患者ID: 00000	
患者情報	
氏名	
性別	
年齢	
生年月日	
血液型	
職業	
住所	
電話番号	
メールアドレス	
備考	
検査結果	
項目	値
項目1	値1
項目2	値2
項目3	値3
項目4	値4
項目5	値5
項目6	値6
項目7	値7
項目8	値8
項目9	値9
項目10	値10
項目11	値11
項目12	値12
項目13	値13
項目14	値14
項目15	値15
項目16	値16
項目17	値17
項目18	値18
項目19	値19
項目20	値20
項目21	値21
項目22	値22
項目23	値23
項目24	値24
項目25	値25
項目26	値26
項目27	値27
項目28	値28
項目29	値29
項目30	値30
項目31	値31
項目32	値32
項目33	値33
項目34	値34
項目35	値35
項目36	値36
項目37	値37
項目38	値38
項目39	値39
項目40	値40
項目41	値41
項目42	値42
項目43	値43
項目44	値44
項目45	値45
項目46	値46
項目47	値47
項目48	値48
項目49	値49
項目50	値50
項目51	値51
項目52	値52
項目53	値53
項目54	値54
項目55	値55
項目56	値56
項目57	値57
項目58	値58
項目59	値59
項目60	値60
項目61	値61
項目62	値62
項目63	値63
項目64	値64
項目65	値65
項目66	値66
項目67	値67
項目68	値68
項目69	値69
項目70	値70
項目71	値71
項目72	値72
項目73	値73
項目74	値74
項目75	値75
項目76	値76
項目77	値77
項目78	値78
項目79	値79
項目80	値80
項目81	値81
項目82	値82
項目83	値83
項目84	値84
項目85	値85
項目86	値86
項目87	値87
項目88	値88
項目89	値89
項目90	値90
項目91	値91
項目92	値92
項目93	値93
項目94	値94
項目95	値95
項目96	値96
項目97	値97
項目98	値98
項目99	値99
項目100	値100

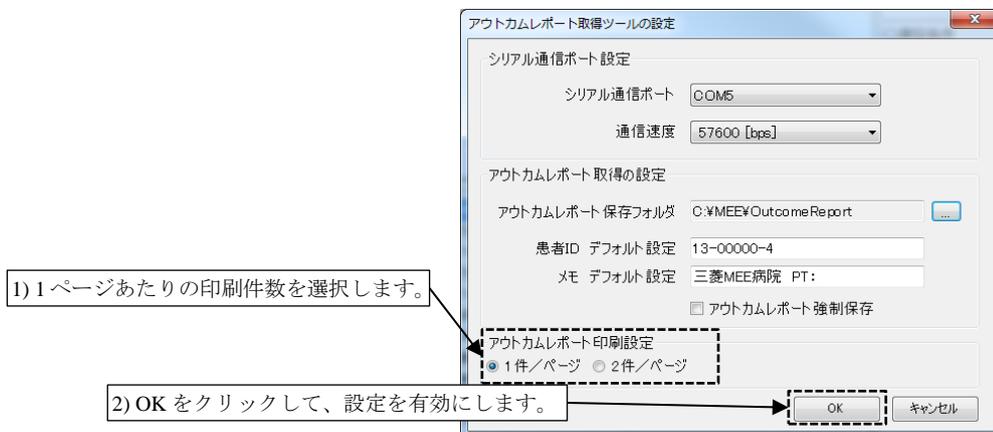
② 1ページあたり2件

アウトカムレポート	
2016/12/01 12:28	
患者ID: 13-00000-4	
検査項目	
項目1	値1
項目2	値2
項目3	値3
項目4	値4
項目5	値5
項目6	値6
項目7	値7
項目8	値8
項目9	値9
項目10	値10
項目11	値11
項目12	値12
項目13	値13
項目14	値14
項目15	値15
項目16	値16
項目17	値17
項目18	値18
項目19	値19
項目20	値20
項目21	値21
項目22	値22
項目23	値23
項目24	値24
項目25	値25
項目26	値26
項目27	値27
項目28	値28
項目29	値29
項目30	値30
項目31	値31
項目32	値32
項目33	値33
項目34	値34
項目35	値35
項目36	値36
項目37	値37
項目38	値38
項目39	値39
項目40	値40
項目41	値41
項目42	値42
項目43	値43
項目44	値44
項目45	値45
項目46	値46
項目47	値47
項目48	値48
項目49	値49
項目50	値50
項目51	値51
項目52	値52
項目53	値53
項目54	値54
項目55	値55
項目56	値56
項目57	値57
項目58	値58
項目59	値59
項目60	値60
項目61	値61
項目62	値62
項目63	値63
項目64	値64
項目65	値65
項目66	値66
項目67	値67
項目68	値68
項目69	値69
項目70	値70
項目71	値71
項目72	値72
項目73	値73
項目74	値74
項目75	値75
項目76	値76
項目77	値77
項目78	値78
項目79	値79
項目80	値80
項目81	値81
項目82	値82
項目83	値83
項目84	値84
項目85	値85
項目86	値86
項目87	値87
項目88	値88
項目89	値89
項目90	値90
項目91	値91
項目92	値92
項目93	値93
項目94	値94
項目95	値95
項目96	値96
項目97	値97
項目98	値98
項目99	値99
項目100	値100

①設定画面を開きます。



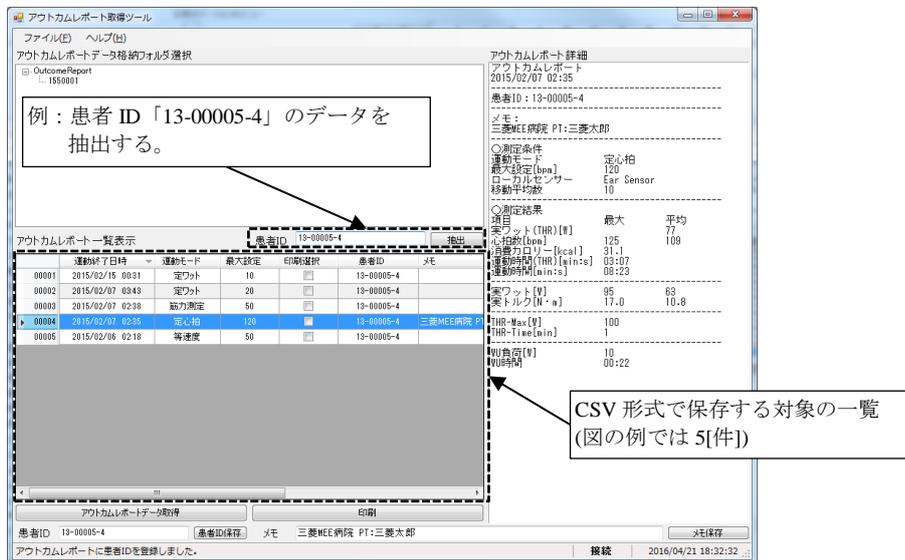
②「アウトカムレポート印刷設定」内の「1件/ページ」あるいは「2件/ページ」をクリックして、1ページあたりの印刷件数を選択します。選択したら、OKボタンをクリックして、設定を有効にします。



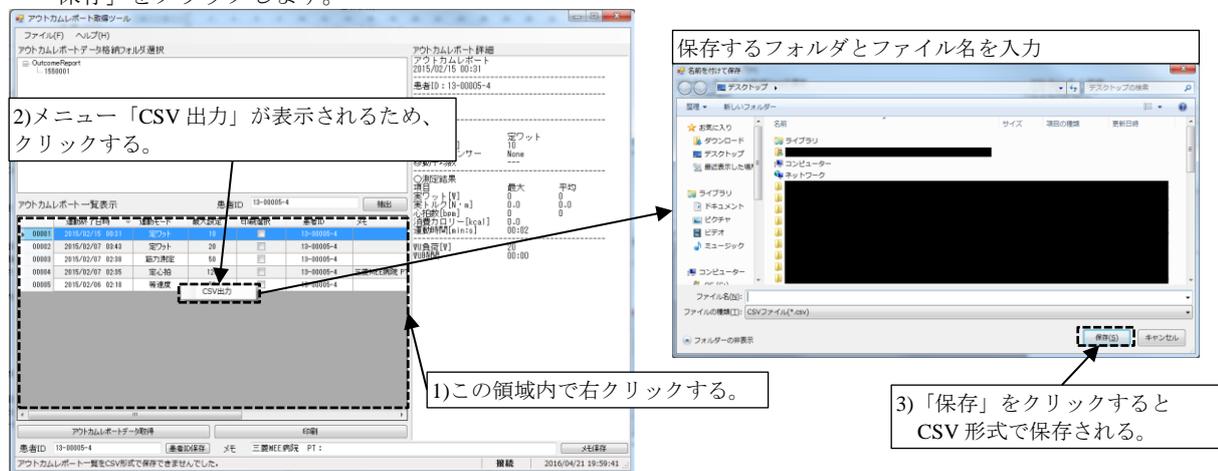
6.4.アウトカムレポート一覧表示の CSV 出力

「アウトカムレポート一覧表示」に表示されているデータの一覧を、CSV 形式で保存します。6.2 節で説明した、患者 ID で抽出した一覧表を保存することも可能です。

- ①6.2 節で示した患者 ID による抽出などを使用して、CSV 形式で保存したいアウトカムレポート一覧を表示させます。「アウトカムレポート表示一覧」に表示されている一覧表のみ保存します。



- ②アウトカムレポート一覧表示の枠内にて右クリックすると「CSV 出力」メニューが表示されます。この CSV 出力を選択すると、ファイル保存ダイアログが表示されるので、保存するフォルダとファイル名を入力し「保存」をクリックします。



保存された CSV 形式の例

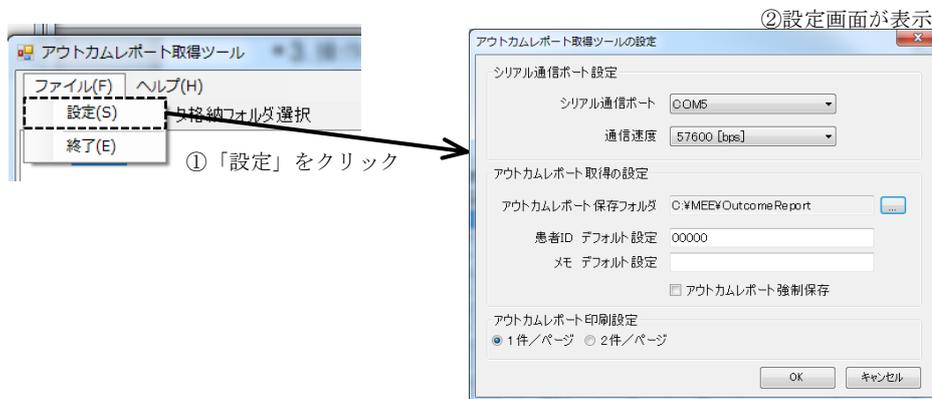
```

運動終了日時,運動モード,最大設定,患者 ID,メモ
2015/02/06 2:18:00,"等速度",50,"13-00005-4",""
2015/02/07 2:35:00,"定心拍",120,"13-00005-4","三菱 MEE 病院 PT:三菱太郎"
2015/02/07 2:38:00,"筋力測定",50,"13-00005-4",""
2015/02/07 3:43:00,"定ワット",20,"13-00005-4",""
2015/02/15 0:31:00,"定ワット",10,"13-00005-4",""
    
```

6.5.パソコンに取得済のアウトカムレポートを再取得する

ストレンジスエルゴ5よりアウトカムレポートデータを取得する場合、通常では前回取得から新たに増えたデータのみ取得します。しかし、パソコンに保存されている過去取得したデータが何らかの要因で破損した場合、ストレンジスエルゴ5に残されている全てのデータを強制的に再取得することで、データが復旧する可能性があります。

①設定画面を開きます。

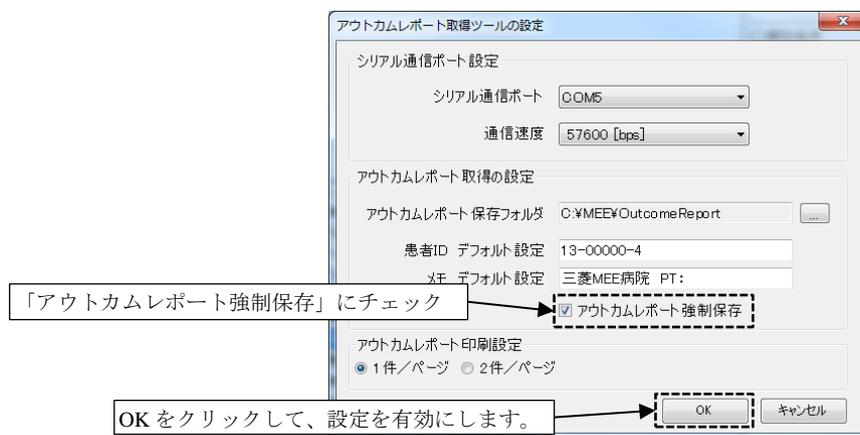


②「アウトカムレポート強制保存」チェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンをクリックして、設定を有効にします。

この状態で、「アウトカムレポートデータ取得」ボタンをクリックすると、過去の取得有無に関係なく、ストレンジスエルゴ5本体に保存されているすべてのデータを取得し、ファイルに保存します。既にパソコンに取り込んでおり重複するデータは、ファイル命名規則に従って、重複しないようにファイル名が変更されます。

この場合、同じアウトカムレポートが保存されることとなりますので、不要なデータは本書5章を参考に、拡張子 s5o ファイルを削除します。

※アウトカムレポート取得ツールから直接データを削除することはできません。



6.6.通信速度を変更する

パソコンとストレングスエルゴ5本体のRS-232C通信速度を変更することが可能です。データの取得時間を短縮したい、または通信が安定しない場合は、本節の説明に従い通信速度を変更して下さい。

通信速度	メリット	デメリット
通信速度を上げる	アウトカムレポートデータの取得時間が短縮されます。	環境によっては、データの破損や取得失敗が増加する可能性があります。
通信速度を下げる	通信が安定し、データ破損や取得失敗の可能性を低減できます。	アウトカムレポートデータの取得時間が延びます。

- ①ストレングスエルゴ5 操作BOXの設定を変更します。通信速度は、初期値として57600[bps]が選択されています。操作BOXのパラメータ「Prm.286 PC CommunBitRate」は38400, 57600, 115200[bps]の3種類の選択が可能です。通信速度の数値が大きいほど速く、小さいほど遅くなります。例として、通信速度を上げるため、115200[bps]を選択します。通信速度を38400[bps]に下げるときも操作は同様です。

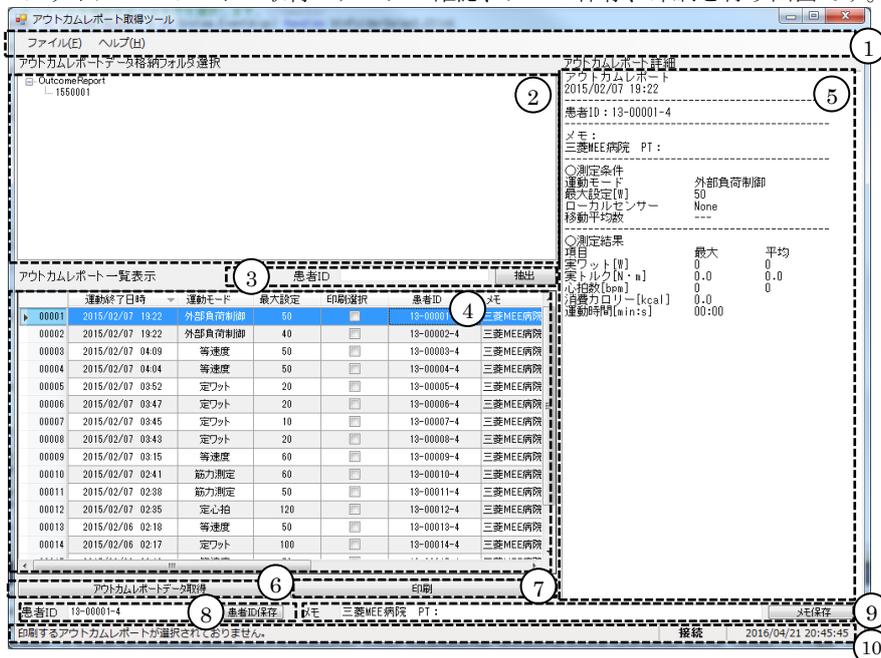
※本画面は、操作BOX F/W Ver. 1.1.000版のものであり、予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

- ②本ツールの通信速度設定を変更します。4.2節を参考に、通信速度を操作BOXのPrm.286に合わせます。OKボタンをクリックして、アウトカムレポート取得ツールを再起動したのち通信速度が反映されます。4.2節を参考に、操作BOXとの通信が確立するか確認してください。

7.画面構成

7.1.メイン画面

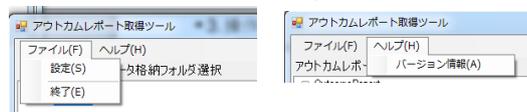
アウトカムレポートの取得・データの確認、メモの保存、印刷を行う画面です。



①メニュー

以下に示すメニューを表示します。

(①-a)ファイルメニュー (①-b)ヘルプメニュー



メニュー	説明
設定	ツールの設定画面を表示します。(7.2節参照)
終了	ツールを終了します。(4.8節参照)
バージョン情報	バージョン情報を表示します。(7.3節参照)

②アウトカムレポートデータ格納フォルダ選択

アウトカムレポートのデータファイルが格納されているフォルダを選択します。フォルダは製造番号単位で作成されます。選択したフォルダ内を検索し、その一覧を④に表示します。

③患者 ID 抽出

アウトカムレポート一覧表示(④)に表示するアウトカムレポートを患者 ID で抽出するときに、患者 ID を入力して、抽出ボタンをクリックします。

④アウトカムレポート一覧表示

②で選択したフォルダに格納されているアウトカムレポートの一覧を表示します。データの並び順は、運動終了日時の順番で、最新のデータが先頭に表示されます。「運動終了日時」など、各列の見出しをクリックすると、降順/昇順でソートすることができます。ここで選択したアウトカムレポートを⑤に表示します。

⑤アウトカムレポート詳細

アウトカムレポートの詳細データを表示します。④で選択したアウトカムレポートの詳細データを表示します。

⑥アウトカムレポート取得ボタン

ストレングスエルゴ 5 本体からアウトカムレポートのデータを取得して、パソコン本体に保存します。ストレングスエルゴ 5 本体とシリアル通信が確立していないときは、ボタンを押すことができません。

⑦印刷ボタン

アウトカムレポートを印刷します。アウトカムレポート一覧表示(④)の印刷選択にチェック("レ")を付けたデータを印刷します。

⑧患者 ID 入力・患者 ID 保存

アウトカムレポートに保存する患者 ID を入力、保存します。アウトカムレポートと患者を対応付けるため、患者 ID を登録すると便利です。

⑨メモ入力・メモ保存

アウトカムレポートに保存するメモを入力、保存します。

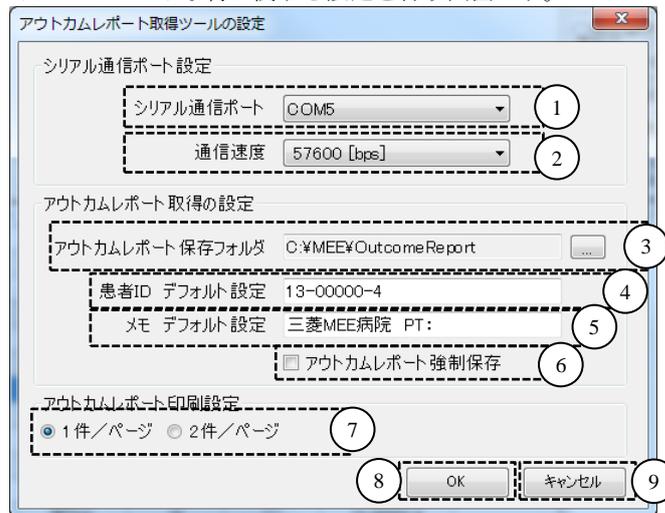
⑩ステータスバー

ツールの状態を表示します。

表示領域	説明
ツール通知領域	ツールからの通知
シリアル通信状態表示	未接続：シリアル通信接続未確立 接続：シリアル通信接続確立
現在日時表示	現在の日時を表示します。

7.2.設定画面

ツールの通信設定、アウトカムレポート取得に関する設定を行う画面です。



①シリアル通信ポート

使用するシリアル通信ポートを選択します。パソコンが使用可能なシリアルポート一覧が表示されますので、プルダウンからポートを選択します。

パソコンに使用可能なシリアル通信ポートがないとき、選択することができません。

②通信速度

使用する通信速度を選択します。操作BOXのパラメータ設定した通信速度と同じ通信速度を選択します。操作BOXの通信速度のデフォルト設定は57600[bps]ですので、ストレングスエルゴ5のパラメータを変更しない限り、57600[bps]を選択します。

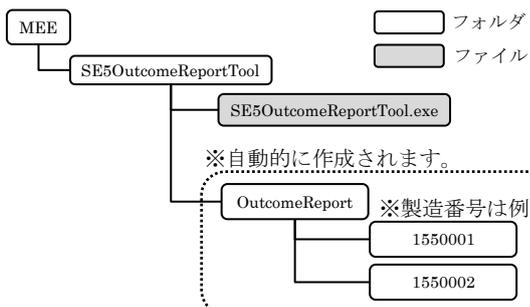
選択可能な通信速度
38400[bps]
57600[bps] (※)
115200[bps]

※：デフォルト設定

③アウトカムレポート保存フォルダ

ストレングスエルゴ5本体から受信したアウトカムレポートを保存するフォルダを選択します。

デフォルトは、以下に示すように“OutcomeReport”フォルダが自動的に作成され、このフォルダ内にアウトカムレポートのファイルを保存します。



④患者ID デフォルト設定

アウトカムレポートに患者IDが登録されていないとき、デフォルトで患者ID入力欄に表示される文字列を入力します。患者ID保存ボタンをクリックしない限り、保存されません。

⑤メモ デフォルト設定

アウトカムレポートにメモが登録されていないとき、デフォルトでメモ入力欄に表示される文字を入力します。メモ保存ボタンをクリックしない限り、保存されません。

⑥アウトカムレポート強制保存

ストレングスエルゴ5本体に保存されている最大40[件]のアウトカムレポートを強制的にファイルに保存します。(6.5節参照)

⑦アウトカムレポート印刷設定

アウトカムレポートを印刷するときに、1ページに印刷する件数を設定します。1件/ページ、2件/ページから選択します。

⑧OK ボタン

設定を保存して、設定画面を閉じます。

⑨キャンセルボタン

設定の変更を保存せずに、設定画面を閉じます。

7.3.バージョン情報画面

アウトカムレポート取得ツールのバージョン情報を表示します。



Memo



〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-13-5 (ヒューリック九段ビル)

(問い合わせ先)

名古屋事業所 …… 〒486-0906 愛知県春日井市下屋敷町字下屋敷 139 (開発試作センター) …… (0568) 36-2096

受付 / 9:00~17:00 月曜~金曜
土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日